

## 障害のある児童・生徒の継続的支援のための 情報共有の仕組みについて

6月28日(土) (※授業日) 14:00~16:00 @学而館2F第3研究会室

報告 1: 京都市立西総合支援学校の取り組み

上田 征樹 (副教頭)・上田 文彦 (研究主任)

報告 2: 京都市立北総合支援学校の取り組み

清野 嘉奈子(PTA 会長)・小澤 牧子(研究主任)・土田 菜穂(講師)

企画: 望月 昭 (立命館大学文学部 教授)

司会: 中鹿 直樹 (立命館大学文学部 准教授)

\*使用言語: 日本語

障害のある児童・生徒の継続的な支援のためには、関連する支援者・支援機関の間での情報共有が必要となります。本セミナーでは、この課題に積極的に取り組んできた京都市内の2つの総合支援学校から学校関係者を招聘します。

京都市立西総合支援学校では、個別の児童・生徒の、今の時点で援助付き/援助なしで成立する行動について記録し、次のステップにつなげるための「できますシート」を作成・運用しています。さらにこのシートを中心として、個別の包括支援プラン、情報バンクといった情報共有システムを構築しています。

京都市立北総合支援学校では、保護者を中心に、学校外の支援機関も参加して作成した「サポートブック」を運用しています。

本セミナーでは、両学校の情報共有システムについて紹介をしてもらい、運用のための環境整備やシステムの問題点などについて検討を行います。また、人間科学研究所が継続して行っている「学生ジョブコーチ」の取り組みから、情報共有システムについての提言を行います。

関心ある方のご参加をお待ちしています。

### ★人間科学研究所アドバンスト研究セミナー 今後の予定

Vol.6. 7/4 (金) 16:30-18:30 「規範理論と実証理論の対話に向けてーリバタリアン・パターンリズムを題材に」

詳細: <http://www.ritsumeihuman.com/news/read/id/79>

Vol.7. 7/17 (木) 15:00-18:00 「供述分析法セミナー」

参加無料 事前申込不要

共催: 立命館大学人間科学研究所

立命館大学 R-GIRO 研究プログラム「対人援助学の展開としての学習学の創造」

対人援助学会

お問い合わせ先: E-mail: [ningen@st.ritsume.ac.jp](mailto:ningen@st.ritsume.ac.jp) TEL: 075-465-8358

